

園長	副園長	教頭	主幹

月	ねらい	想定	避難場所	実施方法
4月	○避難訓練の意義を知る。	▶震度4の地震 (調理室出火) 【総合訓練】(消火・避難・通報)	○第一避難場所へ避難	○どのように避難したらいいのかわかりやすく避難指示をだしていく ○子ども達が落ち着いて避難できるよう声掛けをしていく
5月	○保育者と一緒に避難場所まで落ち着いて避難する○保育者と一緒に避難場所まで落ち着いて避難する	▶調理室より出火 【部分訓練】(消火・避難)	○非常口より、第一避難場所へ避難	“○出火場所や避難経路を、聞き取り保育者の指示に従って敏速に避難する ○避難口からスムーズに外へ避難できるよう保育者同士の連携を大切にしてい”
6月	○保育者の問いかけに素早く反応し自ら避難をしようとする	▶震度6の地震 (調理室出火・津波発生) 【部分訓練】(消火・避難)	○二階に水平避難	○安全な場所へすぐに避難できるよう子ども達に声をかけていく ○火災の煙を吸わないよう注意を促していく ○階段を上る時には危険のないよう補助しながら避難する
7月	○避難時の約束事を守りながら安全に避難していく	▶調理室より出火 【総合訓練】(消火・避難)	○第二避難場所へ避難	○保育者の声に誘導され、素早く担任のもとに集まり自らどのように避難し待てばいいのか行動する ○避難後に避難時の約束についてみんなで確認する
8月	○保育者の話をよく聞き素早く避難をする	▶台風による風水害 (園舎ガラス破損、雨の吹き込み、室内コンセント出火) 【部分訓練】(消火・避難)	○第一避難場所へ避難	○外からどのような災害が起きたのか詳しく説明する ○窓ガラスなどが割れた想定で危険を予測し避難を促す ○お、か、し、も、のパネルを使ってみんなで話をしていく
9月	○保育者と一緒に避難場所まで落ち着いて避難する	▶調理室より出火 【部分訓練】(消火・避難)	○非常口より、第一避難場所へ避難	○先生の指示をよく聞きどのような体勢をとればいいのかすぐに反応できるようにしていく ○絵本や紙芝居などをみながらどのような被害が起きるのか詳しく知っていく
10月	○総合避難訓練 ○消防署による立会訓練 講評	【総合訓練】 (消火・避難・通報)	○保育室非常口より、第一避難場所へ避難	“○出火場所や避難経路を、聞き取り保育者の指示に従って敏速に避難する ○避難口からスムーズに外へ避難できるよう保育者同士の連携を大切にしてい”
11月	①不審者の侵入時の避難の仕方を身につける ②保育者の話をよく聞き素早く安全に避難をする	▶①玄関から不審者侵入 (刃物所持) 【部分訓練】(通報・避難) ▶②調理室より出火 【部分訓練】(消火・避難)	○保育室から第一避難場所へ避難	①子ども達を安全な場所へ避難させるとともに、不審者へは長い棒などで対応し素早く動いていく ①落ち着いて通報する ②移動の際に、他児を押ししたりなどしないよう促し、安全に避難できるようにする
12月	○食事時の災害にも瞬時に反応して避難する	▶震度4の地震 (調理室出火) 【部分訓練】(消火・避難)	○机の下などに隠れそれぞれの身を守る	○机の下に隠れ頭を守り集中して保育士の話を聞いて正しく避難していく ○避難する事の大切さを知っていく ○集中力が途切れないよう最後までしっかりと行っていく
1月	○全員で落ち着いて避難し最後まで約束を守って行動する	▶震度6の地震 (調理室出火・津波発生) 【部分訓練】(消火・避難)	○第二避難場所	○保育者の指示をしっかりと最後までよく聞き素早く避難し集まる ○津波がどのようなものなのか理解する
2月	○いろいろな避難の想定、状況でも保育者の指示に従って避難できるよう指導する	▶震度6の地震 (ガラス破損、調理室出火) 【部分訓練】(消火・避難)	○玄関から靴を履いて第一避難場所へ避難	“○窓ガラスや蛍光灯の下など危険な場所には注意し避けて避難していく ○社員以外の先生が主となり行動できるようマニュアルを基に練習を重ねる”
3月	○避難場所を理解し避難訓練に積極的に参加する	▶震度6の地震 (園舎ガラス破損、津波発生、室内コンセント出火) 【部分訓練】(消火・避難)	○第二避難場所	○窓ガラスや蛍光灯の下など危険な場所には注意し避けて避難していく ○保育者の声掛けですぐに身を守る姿勢をとっていきけるよう促していく ○先生の後につづいて素早く避難していく
評価と反省	地震、家事、落雷、洪水、不審者等様々な訓練ができた。			